

「若手教員の育成を図る研修の在り方」

—中間報告書—



はじめに

愛知県義務教育問題研究協議会は、昭和48年の設置以来、その時々の義務教育に関する諸問題について協議を重ねてまいりました。そして、その研究成果を本県の義務教育の改善や充実の指針とし、県内の小・中学校に広く還元するという役割を果たしてまいりました。

さて、平成25、26年度は、「若手教員の育成を図る研修の在り方」を協議題として、研究を進めることとなりました。近年、教員の大量退職、大量採用が進み、教員の中での世代交代が重要な課題となっております。こうした中で、教師文化の継承の必要性が叫ばれています。

教職とは、子どもたちに生涯にわたる学びを育む職業であり、教員もまた、学び続ける資質を備えることが重要です。平成22年の中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」においては、これからの教員が身に付けるべき資質や能力として、「教職に対する情熱」「教育の専門家としての確かな力量」「総合的な人間力」が挙げられました。愛知県におきましても、こうした資質や能力を効果的に修得させるために、それぞれの教職経験に合った研修の在り方を明らかにすることが喫緊の課題となっております。

私たちは、調査を通して、若手教員の育成に関する県内の実態を把握するとともに、彼らに求められる資質や能力を明らかにし、それらを計画的、段階的に習得させるための研修の在り方をまとめていく予定です。ここに示しますのは、研究の中間報告書であります。各地区、各学校において、教員の人材育成、とりわけ、これからの若手教員の育成を図る研修の在り方について、お考えいただく一助としていただければ幸いです。

今後は、更に様々な角度から検討を重ね、研修事例も収集しながら、26年度には、「若手教員の育成を図る研修の手引き」を作成します。研究の成果を各市町村教育委員会や学校に示すことで、若手教員の資質や能力の向上に資することができることを切に願っています。

平成26年3月

愛知県義務教育問題研究協議会

<目 次>

○ はじめに	… 1
○ 目 次	… 2
I 協議題設定の理由	
1 愛知県の現状	… 3
2 社会の要請	… 3
3 検討すべき協議内容	… 3
II 愛知の若手教員に関する研修の実態調査	
1 調査の目的	… 5
2 調査の方法	… 5
III 調査結果と考察	
1 若手教員の実態から	… 6
2 若手教員の困り感から	… 8
3 研修内容・方法のニーズから	…15
4 若手教員の育成体制から	…23
IV まとめ	…27
○参考資料	
・【調査①】若手教員を指導する指導者の意識調査（指導者用調査）	…28
・【調査②】若手教員の研修に関する若手教員の意識調査（若手教員用調査）	…38
○研究同人	
・平成25年度 愛知県義務教育問題研究協議会委員	…47
・平成25年度 愛知県義務教育問題研究協議会専門部会委員	…48
・平成25年度 愛知県義務教育問題研究協議会事務局	…48